

放送芸術科

番組制作 1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義+ 演習	時間数	30	単位	2
担当教員	根岸史人、宮川佳己			実務 経験	有	職種	放送業務				

授業概要

番組制作や作品鑑賞によって表現方法を学ぶ。

到達目標

知識というものは講義を聴いただけではなかなか身につきません。考える力を養うことです。それは将来、さらに新しい映像メディアが生まれた時に、それらに対応できるように、自ら学び続けていける力を持つ必要があります。さらに身につけた知識を自己表現ができる基礎的技能として習得させることを目指します。

授業方法

ビデオ、スライドを使って講義を行います。各回ごとにプリントを用意します。プリントの余白にメモを取るか、ノートにメモを取るように努めて下さい。授業中の私語は禁止します。この授業に主体的に参加する学生が、映像を読み取る力を身につけることを目指します。

成績評価方法

テキストを毎回配布、重要ポイントを空欄にしてテキストに書き込み覚え、映像の視聴を交えながら重要ポイント理解します。

履修上の注意

授業中の私語、携帯端末等の使用も禁止します。特に私語は講義の進行妨害、他の生徒が講義を受ける事への妨害行為となる事から厳禁です。専門学校は専門知識や技術の習得だけを目的とするものではありません。学生から社会人への移行の場でもあります。社会人としてのマナーや心構えも身につけて欲しいです。ただし、授業時数の4分の3以上の出席が必要です。

教科書教材

毎回プリントを配布します。参考書・参考資料等は、授業中に指示します。

回数	授業計画
第1回	NETFLIX、Hulu配信 ドラマなど新しいドラマの形を理解する
第2回	ドラマ、小説、アニメ作品を通してメディアミックスを理解する
第3回	アニメーション、フルCG、VFX作品を通して最新の映像技術を理解する

第4回	小説が原作の映画を通して脚本のしくみを理解する
第5回	日本アカデミー賞作品を通して映画の評価、コンテストを理解する
第6回	シチュエーションコメディを通して設定、筋書き、仕掛けを理解する
第7回	～第8回オリジナル脚本の映画を通して映像の読み解き方を理解する
第9回	ロングテイク映像を通して最新の撮影技術、編集技術を理解する
第10回	1990年代のSF作品を通して普遍的な作品作りを理解する
第11回	ベストセラーカンターバベル小説の映像化作品を通してメディア化の難しさを理解する
第12回	～第13回演劇作品の映像化作品を通してコメディを理解する
第14回	～第15回時代劇作品を通して美術セット、描き方を理解する